

芸術・スポーツ

**keyword**

- グラフィックデザイン
- タイポグラフィ
- エディトリアルデザイン
- 広告デザイン
- シンボルマーク
- ダイアグラム
- ピクトグラム



**世ノ善生**  
Yoshio Yonoichi

教育学部  
教授

**【専門分野】**

- ・グラフィックデザイン
- ・タイポグラフィ

**【プロフィール】**

- 1994年  
筑波大学大学院修士課程修了
- 2003年  
滋賀大学 助教授
- 2015年  
滋賀大学 教授
- 1992年  
第59回毎日広告デザイン賞  
奨励賞
- 2014年  
日本タイポグラフィ年鑑 2015  
入選
- 2018年  
第12回世界ポスター  
トリエンナーレトヤマ 2018  
入選

**【主な社会的活動】**

- 日本デザイン学会 会員
- 大学美術教育学会 会員

**【代表的な研究テーマ】****□ タイポグラフィを基底としたグラフィックデザイン****課題解決に役立つシーズの説明****■タイポグラフィ**

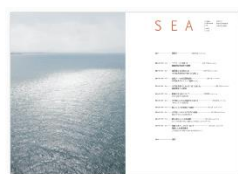
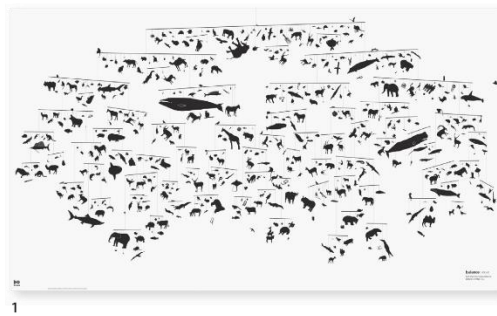
私はタイポグラフィを基底として、様々なグラフィックデザインの活動を行っています。タイポグラフィという言葉は、狭義には活版印刷術を指します。しかし活版・活字が印刷術の主役から降りた現代では、当然ながらタイポグラフィの概念も変化し拡張されました。現代におけるタイポグラフィは「文字又は記号を主軸とした情報伝達の技法」といったところでしょうか。

ごくシンプルなタイポグラフィを想定するならば、今ご覧になっているこの書類のようなものをあげることができます。さて、このようなただの白い紙面に見慣れた文字を並べる行為のどこに造形的・美的感性を働かせる余地があるのでしょうか。ただ文字を並べればよいだけではないでしょうか。

しかし、よく考えると「ただ並べる」ということにも、実は多くの選択肢が隠されています。印刷物の目的や読み手の立場を考え、多くの選択肢に丁寧に向き合って決断をしてゆく必要があるのです。選択肢には紙の大きさ、紙質と色、縦組か横組みか、文字の大きさ、書体の種類、文字の色、字間の空き具合、漢字と仮名の大きさの比、一行の字数、行間の空き具合、余白の量などがあげられます。これらの選択肢ひとつひとつを吟味していった先に、美しく読みやすい印刷物が立ち現れます。

**■文字の情報伝達力**

グラフィックデザインの視覚的な素材は、写真、イラストレーション、ピクトグラム、シンボルマーク、記号、そして文字など様々なものがあります。この中でも文字が飛び抜けて強力な情報伝達力を持っていることは疑うまでもないでしょう。客観的な事実や正確な数値、抽象的な概念、そして人間的な感情の機微といったものまで伝えることができます。印刷物やWebサイトにおいて文字が一切掲載されていないものはほとんど無いことから、重要性が分かります。このように視覚的コミュニケーションを行うグラフィックデザインの基底には文字を組むという行為がしっかりと根をはっています。

**■デザイン活動の例**

1:ポスター「balance」

2:滋賀大学 美術教育の研究冊子  
(エディトリアルデザイン)3:滋賀大学 社会連携研究センターのシンボルマーク  
とロゴマーク

4:滋賀大学 産業共同研究センターのロゴマーク

**企業・自治体へのメッセージ**

文字、写真、イラストレーション等を活用した視覚的コミュニケーションに関する造形的なアドバイスやデザイン物制作で貢献させていただきます。